

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号：8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2010年10月25日

業界初の円/外貨統合型の24時間オンライン勘定系自社製システム導入
 ～ 金融一体課税を踏まえ、夜間・休日も世界中の金融商品を提供 ～

カブドットコム証券株式会社は、2010年10月28日（木）より24時間オンラインで稼動する勘定系システムに外貨決済機能を加えます。これまでも当社の24時間オンライン勘定系システムではCMEや大証FX等、昼夜に渡る商品を、バッチ処理による停止時間の無い24時間オンラインサービスとして提供を行ってまいりましたが、今回、外貨管理機能を加える事で、外貨建てMMF、外貨建て債券や外国株式などが提供可能な、円/外貨統合型(マルチカレンシー対応)勘定系基盤が整いました。

24時間切れ目のない取引が可能

深夜0時に値洗い、
信用余力等の更新

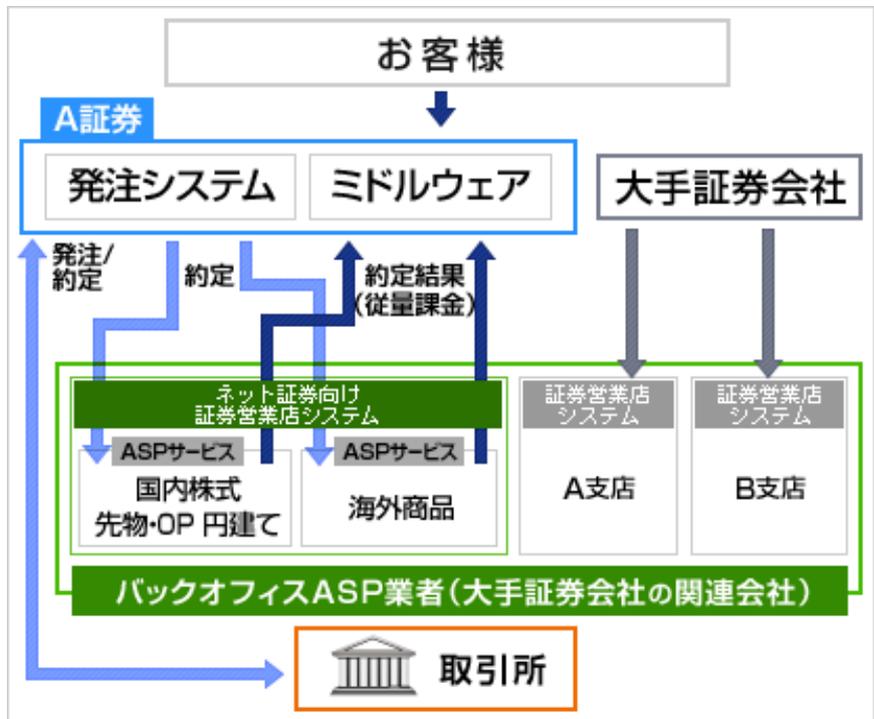
リアルタイムで入金、
振替処理が可能



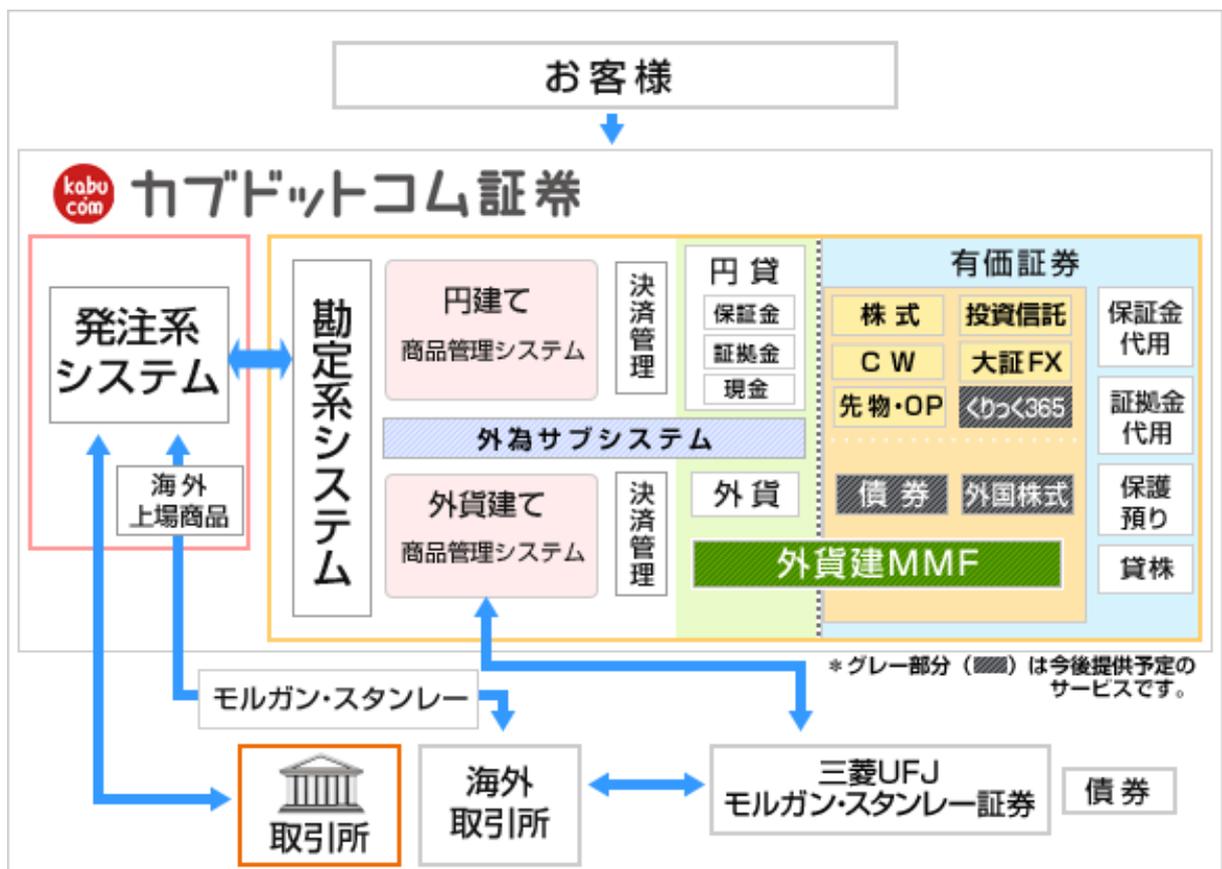
●勘定系システムについて

他のネット証券では外部の勘定系システムを利用することが一般的です。外部の勘定系システムとは、大手証券会社の関連システム会社が、大手証券の各支店毎に用意する営業店システムを、外部の証券会社向けに商品毎にASPサービスとして提供しているものです。

一般的な営業店向け勘定系システムは、オープンシステムではなく、汎用機などの古くから存在するシステムであり、円と外貨及び国内・外の営業店システム毎に分離される事が一般的です。株式、投資信託、債券等について、取引報告書、取引残高報告書等の帳票や特定口座の計算等、各社共通の汎用的なものを利用するために提供されず。また商品毎に縦割りとなっており、商品毎の連携が難しいのが特徴です。



これに対して、当社の勘定系システムはネット専門証券が取り扱う商品に特化したシステムを構築していると言えます。小口化を考慮した小数点を含む勘定データ、外国商品の取り扱いを考えた24時間ノンストップシステム、マルチカレンシー、情報系サービスと直結した円建てによる換算評価、通貨毎の決済機能等の盛りだくさんの機能に加え、ハードウェアレベルでデータを2重化したBCP(事業継続計画)の提供や、[1秒保証サービス](#)で導入済みの超高速グリッドデータベースの採用で各種の余力計算を高速化させる等、先進的なハードウェアやミドルウェアを当社のシステムに自由に組み込めるオープンシステムが当社の提供サービスの基盤となっております。



今後の外貨商品の決済では、決済必要額を当該通貨のMMFから自動解約し決済させる事が可能となります。円貨MMFのように30日未満の信託財産留保額が差し引かれず、また一定の金利を得られるため、外貨建て商品の短期間の決済にも適しており、外貨預金よりアクティブに運用可能であるため、同一または異なる通貨での商品の乗り換えが容易に行えるようなサービスを提供してまいります。

グローバルに展開するモルガン・スタンレーを通して、海外の主要な取引所に注文の取次ぎが行うことが可能であり（CME 日経225先物取引に関しては実現済み）、また、三菱UFJモルガン・スタンレー証券は国内でも最大規模の債券の取り扱い高を誇ります。今後、グループ企業の商品力、機動力を活かし、当社のシステム基盤を最大限に活用し、同時に銀行系ならではの証券為替サービスの具現化を検討してまいります。

●金融一体課税を踏まえ、全ての商品をひとつの勘定系システムで管理すること

「貯蓄から投資へ」という政策的要請によって、異なる商品の損益通算を認める範囲が拡大しつつあります。当社ではこの流れを踏まえて、損益通算が可能な主として取引所が提供する商品を率先的に扱ってまいりました。当社では損益通算可能な上場デリバティブ(日経225先物、日経225オプション、TOPIX先物、大証FX、上場カバードワラント)はネット証券でも最も取り扱い種類が多く、業界最低水準の手数料を誇っております。低コスト・高機能となる内製化によるIT構築はもちろん、金融庁による金融税制調査会の検討状況等を踏まえ、今後もシステム内製化によって、お客さまに有益な投資環境を提供してまいります。